

# 第117回触媒討論会 特別シンポジウム

主催：触媒学会／協賛：触媒工業協会、日本化学会

日時：平成28年3月22日(火)14:30～17:35

会場：大阪府立大学触媒討論会会場にて(大阪府堺市中区学園町1番1号)



触媒学会では、第115回触媒討論会に引き続き、第117回触媒討論会でも特別シンポジウムを開催します。

注目度の高いテーマや他分野との境界領域のテーマを選定し、各領域で活躍されている産学官の第一人者の方々にご講演をお願いしています。本企画が、各界の研究者の交流を一層促進して、革新的な成果を生み出す"触媒"となるよう、積極的なご参加をお願いします。

## プログラム

### テーマ1

#### 【自動車排ガス浄化触媒の最前線】

- 14:30～15:15  
技術研究組合AICEと活動内容のご紹介  
(トヨタ自動車) 福間隆雄
- 15:15～16:00  
ディーゼル酸化触媒へのHC蓄積に由来した白煙発生メカニズム解析  
(日本自動車研究所) 北村高明
- 16:05～16:50  
窒素酸化物除去のためのゼオライト触媒開発とAICE:T拠点の役割  
(東京大学) 小倉 賢
- 16:50～17:35  
ディーゼルパーティキュレート酸化触媒の研究開発動向  
(産業技術総合研究所) 小淵 存

### テーマ2

#### 【触媒プロセスの将来像】

- 14:30～15:15  
触媒反応プロセスの工業化 –触媒とプロセスの関わり–  
(旭化成ケミカルズ) 角田 隆
- 15:15～16:00  
バイオマスを原料とする地域分散型の化学生産システム  
(九州大学) 林潤一郎
- 16:05～16:50  
連続フロー法によるファインケミカルズ製造の革新  
(東京大学) 小林 修
- 16:50～17:35  
触媒の発見から産学連携による実用化、カタリストインフォマティクスへの期待  
(産業技術総合研究所) 佐藤一彦